

【農林業が一体となった有害鳥獣害被害防止対策市町村支援】



捕獲作業から捕獲個体の最終処分まで

大型排水管を活用した残渣処理
三重森林管理署

鳥獣の捕獲及び狩猟の適正化に関する法律

第18条

鳥獣又は鳥類の卵の捕獲等又は採取をした者は、適切な処理が困難な場合又は、生態系に影響を及ぼす恐れが軽微である場合として環境省令で定める場合を除き、当該捕獲等は採取等をした場所に、当該鳥獣又は鳥類の卵を放置してはならない。



★各自治体とも捕獲個体の「処分」には頭を悩ませている

★捕獲個体の処理現状

食肉利用・現地埋設・焼却処分等が中心

※焼却処分には多額の費用が必要となるとともに、制限が多い

大型排水管を利用した「残渣処理」試験

使用材料

TACパイプA型 長さ4m・幅1m
キャップ 現材料を加工して作成



設置に係る費用

(令和3年時の価格)

●1基当たりの設置経費

- ・TACパイプA型(長さ4m・幅1m) 1本 ￥190,000
- ・半割継手 ￥42,000
- ・キャップ(受注制作) ￥125,000
- ・設置作業(1式) ￥75,000

工事価格(1式) ￥432,000

消費税(10%) ￥43,200

工事費計 ￥475,200(約50万円)

※現在の材料費等を考慮した場合、工事価格は￥500,000を超え
ると考えられます。

※設置時間 約6時間

「大型排水管」の稼働状況

- ・捕獲個体の運搬、投棄



- ・「罨」に掛かった個体の止め刺し、運搬
- ・運搬用軽トラックからの投棄
- ・排水管内部の状況

腐敗臭対策

●「ぼかし剤」の利用

投棄した個体の腐敗臭等により、かなり厳しい臭気が発生したことから、家庭ゴミの残飯等を肥料に変える「ぼかし」を利用した結果、悪臭が軽減するとともに分解が促進されました。



※「ぼかし」の購入は、田辺市の障害者施設が制作している製品を購入しました。

クマ対策

クマが出現した場合に、大型排水管の上部へよじ登る可能性があり、場合には、大型排水管内部に滑落する危険が想定されることから、対策として、鉄板による滑落防止対策を実施しました。



●鉄製プレート板(三つ折り式)
制作費用 約41,000円



鉄工所へ制作を依頼

野生動物の掘り起こし対策

現地等へ埋設処理を行った場合には、高い確率で野生動物（イノシシ・クマ・タヌキ等）による「掘り起こし」が発生します。

この「大型排水管」についても、投棄後に個体の匂いを嗅ぎつけて野生動物が出現しました。しかし、野生動物が掘り起こそうとしても「投棄個体」へたどり着けない状況から、数日後には出現率は大幅に少なくなりました。

● 大型排水管に「クマが出現」

クマが投棄個体を捕食しようと、大型排水管にアタックした写真です。

※結果、クマによる掘り起こしが出来なかったことから、数日後には出現しなくなりました。



西ノ河国有林妹尾支線での状況(R4年5月、R5年6月、R6年1月比較)

時間の経過とともに分解が進み、骨と皮を残すのみとなりました。

R4年5月2日

処理頭数: 約76頭

かさ高 : 1.4m



R5年6月23日

処理頭数: 約90頭

かさ高 : 1.1m



R6年1月4日

処理頭数: 約100頭

かさ高 : 1.3m



西ノ河国有林39林班線での状況(R4年5月、R5年6月、R6年1月比較)

時間の経過とともに分解が進み、骨と皮を残すのみとなりました。

R4年5月2日

処理頭数：約33頭

かさ高：0.9m



R5年6月23日

処理頭数：約60頭

かさ高：0.3m



R6年1月4日

処理頭数：約110頭

かさ高：1.1m



大杉谷国有林での状況(R5年12月、R6年6月比較)

R5年12月15日

処理頭数: 約39頭

かさ高 : 0.8m

※ポリエチレン製

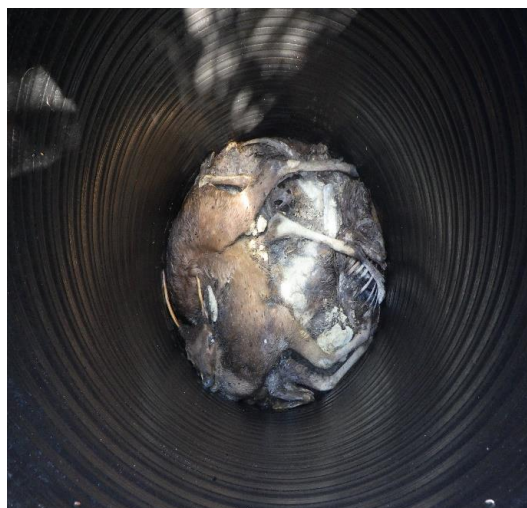


R6年6月

処理頭数: 約52頭

かさ高 : 1.4m

※ポリエチレン製



R5年12月6日

処理頭数: 約22頭

かさ高 : 0.5m

※金属製



R6年6月

処理頭数: 約65頭

かさ高 : 1.8m

※金属製

